

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南津守小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立南津守小学校
学 校 長 名	西村 武明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立南津守小学校では、第6学年 44名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南津守小学校の結果概要

本校の平均正答率は、国語で大阪市平均を２ポイント、全国平均を３.９ポイント下回った。算数では大阪市平均と同数値、全国平均では０.４ポイント下回った。国語は平均以下であり、算数はほぼ同じ水準であることが分かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「読むこと」についての正答率は平均以上であり、文章を読むことへの意識づけや環境づくりが数値として現れている。「情報の扱い方に関する事項」の正答率が低く、複数の情報源を関連付けて比較・統合する力が身に付いていないことが分かる。「話すこと・聞くこと」の正答率も低く、意図や目的・相手の立場を意識した捉え方に課題があることが分かる。

【算数】

「図形」「データ活用」が他分野と比較して正答率が低い。図形については、頭の中でイメージする力が弱く、多面的な捉え方ができていないことが要因として挙げられる。また、データ活用は国語科の情報と同様に、比較・統合する力の弱さが現れている。

質問調査より

- ・（１６）「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」、（１７）「友だち関係に満足していますか。」、（２０）「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。」の質問項目では、肯定的に答えた児童が平均値～平均以上であり、普段の授業や学級活動での話し合い活動で、多様な意見を認め合っている成果が出ている。
- ・（８）「自分にはよいところがありますか。」の質問項目では、平均を下回っており自己肯定感が低いことが分かる。一方、（１４）「人の役に立ちたい人間になりたいですか。」の質問項目では平均を上回っており、他者への貢献意欲が高いことが分かる。

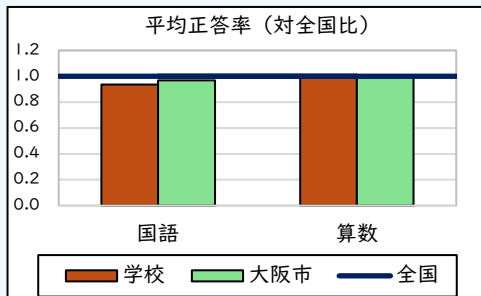
今後の取組（アクションプラン）

- ・複数資料を読み比べる活動を導入する。（同じ内容を異なる視点でまとめた資料を活用して共通点・相違点をまとめる。）
- ・思考ツールを用いて、情報の整理を視覚化する。また、相手や目的に合わせた発表方法の検討・実践を行う。
- ・ICTツールを活用することにより、図形の捉え方やデータ活用の有用性を学ぶ。
- ・集団活動、異学年交流で「頼られる・任される場面」を多く設定する。
- ・地域との交流で、自分たちの考えたことを実践して、誰かの役に立つ経験を積む。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

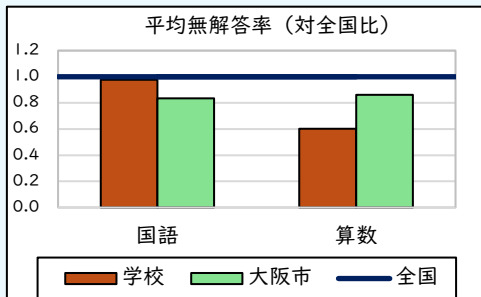
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	57	56
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



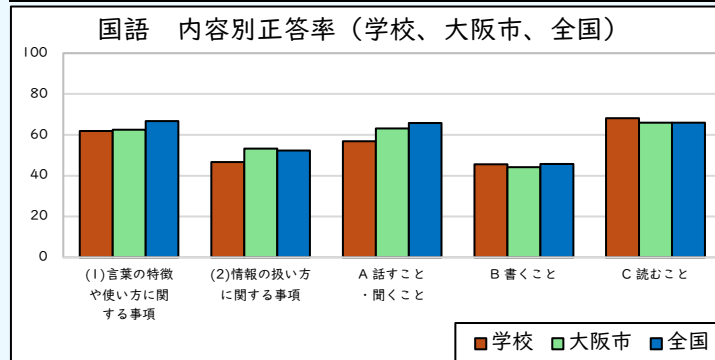
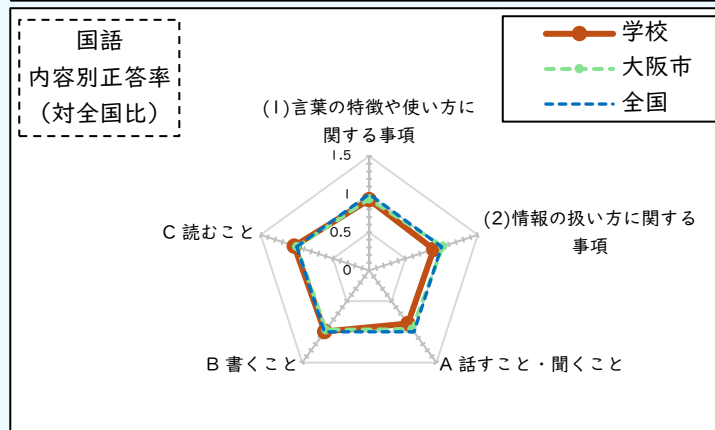
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.3	1.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



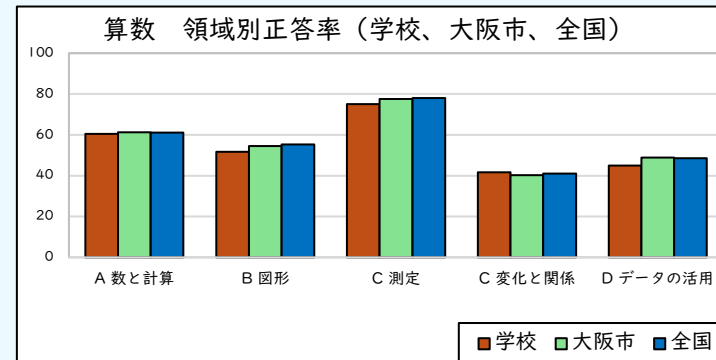
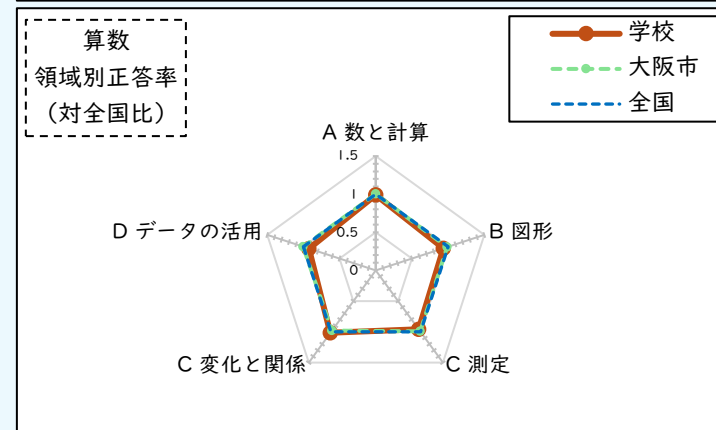
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	61.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	46.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	56.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	45.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	68.2	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.5	61.2	61.1
B 図形	4	51.7	54.5	55.3
C 測定	1	75.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	41.7	40.3	41.1
D データの活用	4	44.9	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

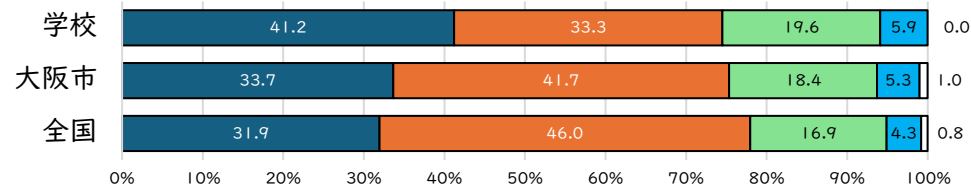
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(16)

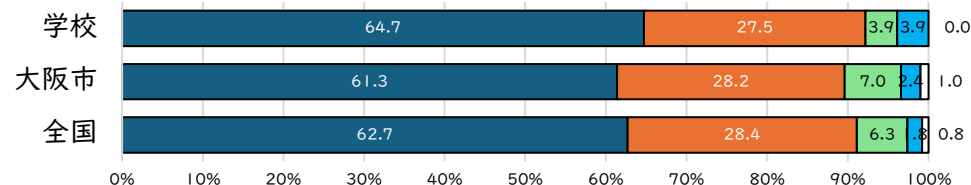
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(17)

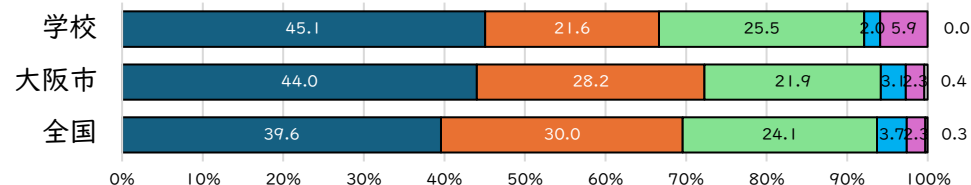
友達関係に満足していますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(20)

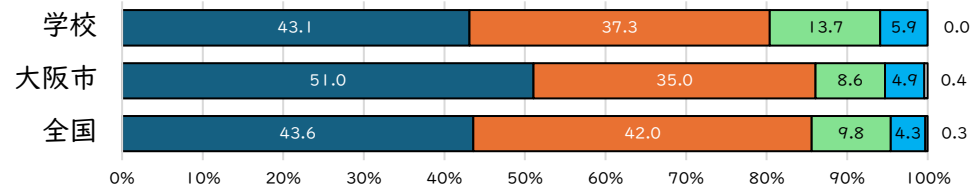
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

(8)

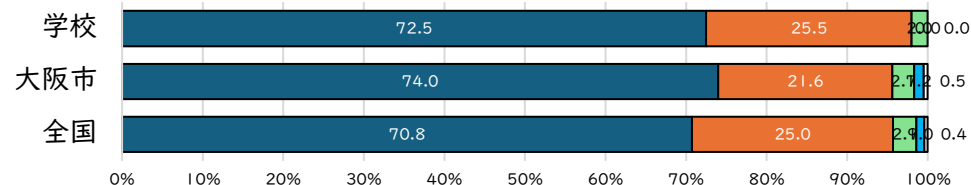
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14)

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

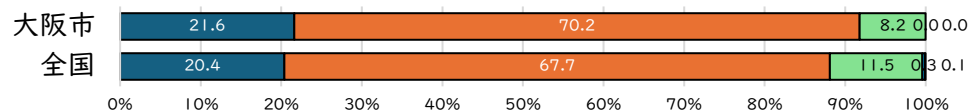
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない

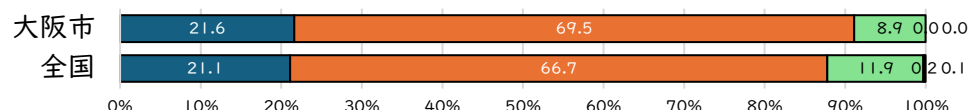


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

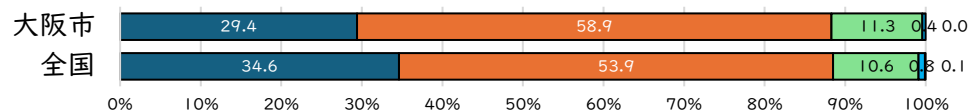


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(59)

コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない

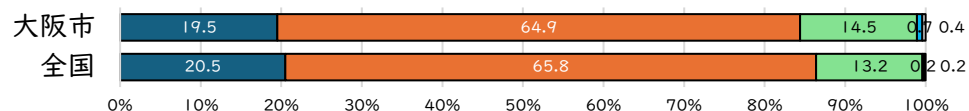


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(68)

ICT機器を活用して各教科等における見方・考え方を働かせるような学習指導を行いましたか

【学校の回答】 3 あまり行わなかった

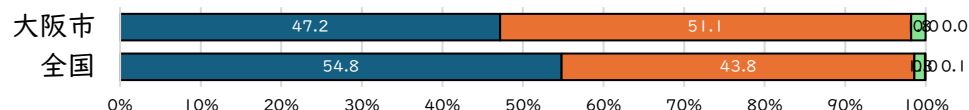


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(69)

ICT機器やインターネットの活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった